

BTSJ 講習会の趣旨

BTSJ 活用方法講習会受講申し込みの皆さま

この度は、BTSJ 講習会の受講申し込みをありがとうございました。

本システムは、「基本的な文字化の原則 (Basic Transcription System for Japanese: BTSJ)」(宇佐美 1997 : 改訂版最新 2011、以下、BTSJ) に基づいたもので、「対人コミュニケーション研究の方法論としての「自然会話分析への言語社会心理学的アプローチ」(宇佐美、1999) に、グローバルな観点とローカルな観点をより明確に位置付けた「総合的会話分析」(宇佐美、2008) に適するように開発されたものです。「総合的会話分析」とは、言語使用という相互作用を通して人間関係のあり方やコミュニケーション・ダイナミクスを探ることに重点を置いたもので、研究方法論としては定量的・定性的双方の分析を必須としています。この文字化の原則自体には約 15 年間の利用実績があります。その経験に基づいて、時間と労力のかかる文字化作業を少しでも効率化して、より多くの方々に会話データに基づく有意義な研究を行っていただきたいと考え、開発してきたシステムです。2009 年に入力支援と自動集計機能を、また、2011 年には、複数ファイル自動集計機能を搭載したことによって、個人の文字化作業の労力を格段に節約し、より掘り下げた分析・考察に時間を費やすことが可能になりました。広く関係の方々にご活用いただきたいと思います。

ただ、本システムを生かして、有意義な研究を行っていただくためには、「総合的会話分析」の理論的背景や主旨を正確に理解した上で活用していただくことが極めて重要です。そのため、本システムの利用は、講習会をすべて受講した本人のみに限らせていただいておりますので、ご了承ください。

それでは、講習会でお目にかかれましてを楽しみにしております。

言語社会心理学研究会

会長

宇佐美まゆみ

引用文献：

宇佐美まゆみ(1997)「基本的な文字化の原則 (Basic Transcription System for Japanese: BTSJ) の開発について」、『日本人の談話行動のスクリプト・ストラテジーの研究とマルチメディア教材の試作』、平成 7-8 年度文部省科学研究費基盤研究 C(2) (課題番号:

07680312)(研究代表者: 西郡仁朗)、研究成果報告書: 12-26

宇佐美まゆみ(1999)「談話の定量的分析－言語社会心理学的アプローチ」『日本語学』18(11)、明治書院: 40-56.

宇佐美まゆみ(2008)「相互作用と学習－ディスコース・ポライトネス理論の観点から」西原 鈴子・西郡仁朗編『講座社会言語科学 第4巻 教育・学習』、ひつじ書房: 150-181.

宇佐美まゆみ(2011)「改訂版: 基本的な文字化の原則 (BTSJ: Basic Transcription System for Japanese)2011 年版」<http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/usamiken/btsj2011.pdf>

=====

注意事項 1

本システムは、**講習会をすべて受講された方のみ**に配付します。

本システムを生かして、有意義な研究を行っていただくためには、「総合的会話分析」の理論的背景や主旨を正確に理解した上で活用していただくことが極めて重要です。そのため、本システムの利用は、**講習会をすべて受講した本人のみ**に限らせていただいております。

講習会は、午前あるいは午後の方のみの参加も可能ですが、その場合、本システムセットは配付できませんので、予めご了承ください。

=====

注意事項 2

本システムを無断でコピーしたり、配付すること、また、本システムを利用して文字化し保存したデータを、当研究会に許可なく「独自のコーパスという形」にして公開することなどは、ご遠慮ください。

講習会当日は、受付の際に、本システムの「**利用申込書**」及び「**利用許諾契約書**」を提出していただきますので、必ず、事前に、「利用申込書」及び「利用許諾契約書」をお読みいただき、内容をご理解いただいた上で、必要事項を記入の上、受付を行ってください。コーパスも希望される方は、上記に加えてコーパスの「利用申込書」と「利用許諾契約書」を提出してください。

利用許諾契約書は 2 部ずつ印刷し、「上記内容を全て読み理解した上で契約書に記名捺印いたします」のチェックボックスにチェックを入れて記名捺印し、1 部を提出、1 部は自宅用として保存してください。

受付の際に提出できない場合は、講習会を受講できないこともありますので、ご注意ください。

※各書類は、このフォルダの中にあります。システムセット利用申込書は [PDF1](#)、システムセット利用許諾契約書は [PDF2](#)、コーパス利用申込書は [PDF3](#)、コーパス利用許諾契約書は [PDF4](#) です。

=====

注意事項 3

本システム、及び、本コーパスを利用した研究を、論文等、何らかの形で発表する際は、必ず、以下の**正式名称を、出典として明記**してください。

本文中では、以下のように記載してください。

＜「BTSJ 文字化入力支援・自動集計・複数ファイル自動集計システムセット」を利用した場合＞

宇佐美まゆみ(2012)「BTSJ 文字化入力支援・自動集計・複数ファイル自動集計システムセット (2012 年改訂版)」

＜「BTSJ による日本語話し言葉コーパス」を利用した場合＞

宇佐美まゆみ監修(2011)「BTSJ による日本語話し言葉コーパス (トランスクリプト・音声) 2011 年版」

「引用文献リスト」、或いは、「資料リスト」には、以下のように記載してください。

＜「BTSJ 文字化入力支援・自動集計・複数ファイル自動集計システムセット」を利用した場合＞

宇佐美まゆみ (2012)「BTSJ 文字化入力支援・自動集計・複数ファイル自動集計システムセット (2012 年改訂版)」『自然会話リソースバンク構築による世界的教材共有ネットワーク

ク実現のための総合的研究』平成 23 年度～26 年度 科学研究費補助金基盤研究 (A)・(課題番号 23242027)研究成果

<「BTSJ による日本語話し言葉コーパス」を利用した場合>

宇佐美まゆみ監修(2011)「BTSJ による日本語話し言葉コーパス (トランスクリプト・音声) 2011 年版」『人間の相互作用研究のための多言語会話コーパスの構築とその語用論的分析方法の開発』平成 20-22 年度科学研究費補助金基盤研究 B (課題番号 20320072) 研究成果

引用文献に記載する情報は各利用許諾契約書にも記載してありますので、ご確認ください。

=====

参考文献&参考サイト

BTSJ 活用方法講習会に参加する際は、事前に以下の参考文献に目を通してから参加することをお勧めします。以下のサイトも参考にしてください。

参考文献

以下の論文に「総合的会話分析」、及び、それを構成する「言語社会心理学的アプローチ」、「グローバルな分析」、「ローカルな分析」に関する記述があります。各参考文献は、このフォルダの中にあります。

1. 宇佐美まゆみ (2011)「改訂版：基本的な文字化の原則 (BTSJ: Basic Transcription System for Japanese)2011 年版」[PDF5](#)
2. 宇佐美まゆみ (1999)「談話の定量的分析 -言語社会心理学的アプローチ-」『日本語学』18(11)、明治書院: 40-56. [PDF6](#)
3. 宇佐美まゆみ(2006)「談話研究におけるローカル分析とグローバル分析の意義」『言語情報学研究報告 13 自然会話分析への言語社会心理学的アプローチ』東京外国語大学大学院地域文化研究科 21 世紀 COE プログラム「言語運用を基盤とする言語情報学拠点」: 229-243.[PDF7](#)
4. 宇佐美まゆみ(2008)「相互作用と学習ーディスコース・ポライトネス理論の観点から」

西原鈴子・西郡仁朗編『講座社会言語科学 第4巻 教育・学習』、ひつじ書房：150-181.

[PDF8](#)

5. 宇佐美まゆみ（2009）『『伝達意図の達成度』『ポライトネスの適切性』『言語行動の洗練度』から捉えるオーラル・プロフィシエンシー』鎌田修・山内博之・堤良一編『プロフィシエンシーと日本語教育』、ひつじ書房：33-67. [PDF9](#)

6. 宇佐美まゆみ（2012）「母語話者には意識できない日本語コミュニケーション」野田尚史編『日本語教育のためのコミュニケーション研究』、くろしお出版：63-82. [PDF10](#)

参考サイト

「基本的な文字化の原則（BTSJ: Basic Transcription System for Japanese）」に関するいくつかの観点からの解説は、以下の URL で閲覧できます。

1. BTSJ の開発の経緯

<http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/usamiken/btsj.htm>

2. 「BTSJ に基づいて文字化作業をする際の Q&A」

http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/usamiken/btsj_qa.htm

3. 「基本的な文字化の原則(BTSJ: Basic Transcription System for Japanese)を用いた研究方法(コーディングの仕方)2011 年版」

http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/usamiken/example_of_coding.pdf

=====

講習会当日に持参するもの

1. 宇佐美まゆみ（2012）「BTSJ 文字化入力支援・自動集計・複数ファイル自動集計システムセット（2012 年改訂版）」利用申込書（記入捺印済みのもの [PDF1](#)）**受付の際に提出**
2. 宇佐美まゆみ（2012）「BTSJ 文字化入力支援・自動集計・複数ファイル自動集計システムセット（2012 年改訂版）」利用許諾契約書（記名捺印済みのもの [PDF2](#)）**受付の際**

に提出

3. 宇佐美まゆみ監修 (2011)「BTSJ による日本語話し言葉コーパス (トランスクリプト・音声) 2011 年版」利用申込書 (記入捺印済みのもの) (希望者のみ [PDF3](#)) 受付の際に提出
4. 宇佐美まゆみ監修 (2011)「BTSJ による日本語話し言葉コーパス (トランスクリプト・音声) 2011 年版」利用許諾契約書 (記名捺印済みのもの [PDF4](#)) (希望者のみ) 受付の際に提出

5. 「改訂版：基本的な文字化の原則 (BTSJ: Basic Transcription System for Japanese)2011 年版」 [PDF5](#)

6. 入力の仕方のマニュアル 2012 年版 [PDF11](#)

7. BTSJ に基づいて文字化作業をする際の QA まとめ [PDF12](#)

8. BTSJ システムセット操作方法の手引き [PDF13](#)

9. ご自身のノートパソコン

「BTSJ 文字化入力支援・自動集計・複数ファイル自動集計システムセット (2012 年改訂版)」が「そのまま問題なく動くことが保証できる」環境は、今のところ、**日本語 OS・Windows のみ**です。但し、英語 OS・Windows でも、Excel が日本語表示で立ち上がれば、問題なく使えるとの報告を受けています。

また、Mac の場合は、windows を搭載するか、シトリックス

(<http://www.apple.com/jp/business/profiles/citrix/>) のようなものを搭載するなどの処置をする必要があります。

BTSJ に基づいた文字化やコーディングの方法を通常のエクセルも使って、実際に体験していただきますので、参加者の皆様には、ご自身のパソコンを持参していただくことを推奨します。

10. 文字化体験用音声データ(女性)

このフォルダの中にある「14_文字化体験用音声データ(女性).mp3」を、パソコンか USB 等に入れてご持参ください。

11. USB

システムセットのみを希望する方は 600KB 程度、コーパスも希望する方は 1.2GB 程度の空きがあるものがが必要です。

12. イヤホン、または、ヘッドフォン

文字化体験用音声を聞くために必要です。

=====

-----問い合わせ先-----

言語社会心理学会 事務局

BTSJ 講習会

E-mail : btsjworkshop@gmail.com
